

# 富士見市いじめ防止サポーター通信

NO. 2 2016.2

発行 子育て支援課 (049-251-2711 内204)

春一番が観測されたにもかかわらず、厳しい寒さが続いておりますが、皆様お元気で過ごしのことと存じます。日ごろよりいじめの防止等の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

サポーターにはなったものの、活動の機会が少なく、やりがいを感じられない……。という方もいらっしゃるかもしれませんが、日常的にいじめ防止の意識を持っていただき、子どもたちを見守っていただくこと、いざという時に学校へ通報いただくこと、子どもに声をかけていただくことが役割ですので、今後とも、よろしく願いいたします。

市でもより多くの方に「いじめ防止」の意識を持っていただくよう啓発活動を実施していきますので、ご協力いただければ幸いです。

また、サポーター制度にご登録いただいた際に、お願いしております「別紙 報告書」につきましてご記入をいただき、同封の封筒にて3月15日（火）までに投函くださるようお願いいたします。



## ニュース

### 《埼玉県》

●生徒指導課では、平成26年度からネット問題対策教育推進事業の一環として「埼玉県ネットトラブル注意報」を県内の各市町村教育委員会や県立学校にメールマガジン形式で配信しています。

ネットトラブル注意報は、県内の児童生徒に関するネットトラブルの未然防止のため、サイト監視業者が監視活動等から得た喫緊の課題と対策をまとめたものです。

※裏面で内容をご紹介します。

### 《富士見市》

●各学校の「いじめ防止基本方針」がホームページにアップされました。

市のホームページ⇒教育委員会⇒市内小中特別支援学校をクリックすると、各学校のホームページをご覧いただけますので、ご確認ください。

●「いじめのない学校づくり子ども会議」（11/14）が開催されました。

小中学校の代表が集まり、活発な議論が交わされました。その様子が報告リーフレットとなっております。3月以降、市のホームページにもアップされますので、ぜひご覧ください。

●いじめ問題対策連絡協議会が開催されました。2/5（金）

関係機関・団体がどんな活動をしているのかを確認し合い、いじめ防止対策としてどんな連携ができるのかを検討しました。

## 「リツイートの危険性について」

「埼玉県ネットトラブル注意報」平成 27 年 9 月号より

Twitter には、他の利用者の投稿をそのまま再投稿する、リツイートという機能があります。この機能は、面白い投稿を他の利用者に紹介したい場合や、緊急性のある情報を素早く共有したい場合などに使われるものです。

児童生徒の Twitter 上でも、有名人のつぶやきや、インパクトのある画像などをリツイートしているものをよく見かけますが、こうしたリツイートが思いがけない事態に発展してしまうこともあります。

### 【リツイートただけで逮捕されることも】

昨年の 11 月に、Twitter 上に投稿された児童ポルノ画像をリツイートしたとして、大阪府の男性が書類送検され、関東地方に住む中学生が非行事実で児童相談所に通告される、という事件が起こりました。この事件では、最初に画像を投稿した横浜市の男性が書類送検されましたが、リツイートした大阪府の男性と中学生も、「不特定多数の人が見られる状態にした」として、同様の罪に問われました。他人の投稿をリツイートしただけでも摘発されます。

### 【善意のリツイートが混乱を招くことも】

また、Twitter は拡散力が非常に高く、災害等の緊急時にしばしば情報発信に用いられます。しかし、そうした情報を、真偽を確かめずに広めてしまうと、大きな混乱を招いてしまうことがあります。平成 23 年の東日本大震災の際には、メールや電話などがほとんど使えないという事態が発生しましたが、Twitter はアクセス可能であったため、被災地の状況や被災者の安否確認などに Twitter を利用した人が大勢いました。その一方で、「有害物質を含んだ雨が降る」、「水道水が危ない」などといった、人々の不安をあおるような情報も Twitter 上に拡散されていました。

こうした情報は、善意で他の人に教えてあげようとしたのかもしれませんが、事実かどうか確認もしないまま広めたことで、かえって多くの人が混乱する結果となりました。

### 【注意点】

リツイートは、自分の言葉でメッセージを書き込むのと違い、クリック 1 つで手軽にできてしまうため、自分が多くの人に向けて情報を伝達しているという意識が、どうしても希薄になってしまいます。児童生徒には、リツイートとは情報を発信する行為であり、軽はずみなリツイートによって、罪に問われたり、現実世界に大きな影響を及ぼしたりする可能性があるということを、理解させることが大切です。

\*大変参考になる記事だと思しますので、子どもたちに注意喚起をお願いいたします。

今後ともいじめに関する記事等を掲載していきますので、サポーターの皆様からもぜひ情報提供等ご協力をお願いいたします。